

平成 19 年度

私立高入試の概況

平成 19 年 3 月

新教育研究協会

平成 19 年度 私立高入試の概況

1. 募集校数と募集人員

① 募集校数と共学化

平成 19 年度の都内私立高入試では、高輪、吉祥女子、穎明館の 3 校が高校募集を停止し、新たに東京女学館と立教池袋が募集を行ったため都内私立高校の募集校数は 192 校（前年度 193 校）になりました。

男子校だった「大森学園」、「法政大学第一」、女子校だった「順心女子学園」「上野学園」が男女共学になりました。法政大学第一は、2007 年 4 月に三鷹市牟礼（京王井の頭線、井の頭公園駅徒歩 10 分）に移転し、校名を法政大学中学高等学校に変更、順心女子学園は校名を広尾学園中学高等学校に変更します。

② 募集人員

男女校別の募集校数と募集人員は次の通りです。

表 1 男女校別募集校数と募集人員（マイナス：△）

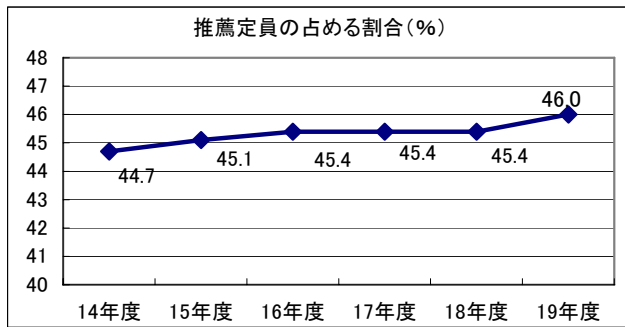
区分	19年度		18年度		増減	
男子校	34校	5,464人	36校	6,177人	△ 2	△ 713
女子校	62	10,804	64	12,068	△ 2	△ 1,264
男女校	96	24,783	93	24,524	3	259
計	192	41,051	193	42,769	△ 1	△ 1,718

③ 入試区分別募集状況

推薦入試は、高校募集を再開した東京女学館や、芝浦工大、帝京大学、法政大学、桐朋女子「音楽科」、明治学院東村山が復活または新規導入し、実施校は前年度より 3 校増えて 181 校になりました。その結果、推薦枠の全体に占める割合は 46.0%と前年度(45.4%)より若干増加しました。

表 2 入試区分別募集状況

区分	推薦入試		一般入試		計	
	学校数	募集人員	学校数	募集人員	学校数	募集人員
男子校	26	2,181	34	3,283	34	5,464
女子校	61	5,220	62	5,584	62	10,804
男女校	94	11,485	96	13,298	96	24,783
計	181	18,886	192	22,165	192	41,051
%	94.3	46.0	100.0	54.0	100.0	100.0



2. 一般入試中間応募状況

2月1日東京都生活文化局私学部から発表された「都内私立高校一般入試入学応募状況（中間）」によると、一般入試の募集人員 **21,975人** に対し、1月29日現在の応募者数は **51,357人**、中間応募倍率は **2.34倍** となり、前年度より0.28ポイントアップしました。下降していた応募倍率に歯止めがかかった形となりましたが、集計日を2日遅く設定したことが影響していると思われます。

表3 中間応募状況

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
募集校数	196校	194校	193校	195校	193校	191校
募集人員	25,016	24,574	23,886	23,659	23,347	21,975
応募人員(中間)	69,233	59,847	57,160	51,889	48,024	51,357
中間倍率	2.77倍	2.44倍	2.39倍	2.19倍	2.06倍	2.34倍
最終倍率	3.62倍	3.49倍	3.40倍	3.12倍	3.14倍	-
調査日	1月28日	1月28日	1月28日	1月28日	1月27日	1月29日

男女校別、普通科専門学科別にまとめた下の表を見ると、普通科では男子校が0.44ポイントと大きくアップしているほか、女子校、男女校とも倍率アップしています。一方で、専門学科では男女校で前年度並みだった以外は男子校女子校とも下がっています。

表4 男女校別、普通科・専門学科別中間倍率

		普通科			専門学科			計		
		募集人員	応募人員	倍率	募集人員	応募人員	倍率	募集人員	応募人員	倍率
男子校	19年度	2,816	7,785	2.76	467	509	1.09	3,283	8,294	2.53
	18年度	3,057	7,100	2.32	680	850	1.25	3,737	7,950	2.13
	17年度	3,186	8,305	2.61	930	1,065	1.15	4,116	9,370	2.28
女子校	19年度	5,050	5,501	1.09	504	381	0.76	5,554	5,882	1.06
	18年度	5,792	5,432	0.94	608	495	0.81	6,400	5,927	0.93
	17年度	6,071	6,720	1.11	611	508	0.83	6,682	7,228	1.08
共学校	19年度	11,722	34,760	2.97	1,416	2,421	1.71	13,138	37,181	2.83
	18年度	11,912	31,945	2.68	1,298	2,202	1.70	13,210	34,147	2.58
	17年度	11,774	33,072	2.81	1,087	2,219	2.04	12,861	35,291	2.74
計	19年度	19,588	48,046	2.45	2,387	3,311	1.39	21,975	51,357	2.34
	18年度	20,761	44,477	2.14	2,586	3,547	1.37	23,347	48,024	2.06
	17年度	21,031	48,097	2.29	2,628	3,792	1.44	23,659	51,889	2.19

3. 各校の応募状況

① 国立大附属

学校名	学科	性別	19年度				18年度				増減
			定員	応募	倍率	合格	定員	応募	倍率	合格	
筑波大付属	普通	男	40	466	11.65	53	36	437	12.14	58	29
		女	40	201	5.03	41	36	200	5.56	42	1
お茶の水女子	普通	女	50	299	5.98	60	50	298	5.96	60	1
筑波大駒場	普通	男	40	139	3.48	38	40	175	4.38	42	△ 36
東京学芸大学	普通	男	43	411	9.56	58	43	468	10.88	63	△ 57
		女	43	275	6.40	54	43	276	6.42	56	△ 1

＜注＞増減の△はマイナス
一般生の数字。合格数は二次試験がある場合は二次合格の数

上記 4 校の国立大附属高は、都立上位校と競合することもなく、毎年安定した入試を行っています。今年度も応募者数の若干の増減はありますが、難易度に変化はないでしょう。

② 私立トップクラス

学校名	学科	性別	19年度			18年度				増減 (A-B)
			定員	応募A	倍率	定員	応募B	倍率	最終	
明大明治	普通	男	80	379	4.74	75	237	3.16	480	142
海城	普通	男	125	428	3.42	125	400	3.20	600	28
学習院	普通	2/11 男	20	37	1.85	-				} 50
		2/14 男	10	78	7.80	10	65	6.50	105	
巣鴨	普通	2/10 男	50	109	2.18	50	117	2.34	215	△ 8
		2/11 男	50	108	2.16	50	121	2.42	206	△ 13
開成	普通	男	100	646	6.46	100	599	5.99	627	47
城北	普通	男	90	407	4.52	90	368	4.09	522	39
早稲田高等学院	普通	男	400	2,380	5.95	400	2,050	5.13	2,377	330
桐朋	普通	男	40	222	5.55	40	191	4.78	208	31
慶應義塾女子	普通	女	100	535	5.35	100	502	5.02	552	33
豊島岡女子	普通	女	75	646	8.61	120	645	5.38	952	1
江戸川女子	Ⅲ類	女	45	100	2.22	60	342	5.70	342	△ 242
明治学院	普通	2/10 共	150	476	3.17	150	474	3.16	731	2
青山学院	普通	共	100	1,237	12.37	100	897	8.97	900	340
中央大学杉並	普通	共	150	632	4.21	150	573	3.82	877	59
国際基督教大学	普通一般	共	80	334	4.18	80	367	4.59	367	△ 33
中央大学附属	普通	共	300	1,092	3.64	300	1,134	3.78	1,282	△ 42
早稲田実業	普通	男	81	1,015	12.53	79	802	10.15	810	213
		女	40	310	7.75	39	251	6.44	256	59
中央大学	普通	共	70	573	8.19	70	558	7.97	701	15

＜注＞増減の△はマイナス
私学の応募数は中間応募の時点

上記の表は、中間応募状況を前年度と比較したものです。集計日が異なるため単純に比較することはできませんが、前年度の最終応募者数を併記してある程度の増減を予想できるようにしました。

前年度、このクラスの高校は、応募者数を 100 人単位で減らしたところが目立ちましたが、今年度は総じて増加したところが目立っています。都立男子トップ校応募減の影響を受けているものと見込まれます。

明大明治は、この時点で大幅に増加しています。来年度(20年度)の移転と共学化に対する期待の現われと思われれます。

東大、早大、慶大を始め難関大学合格に多くの実績をもつ**海城**は若干増となっていますが、新校舎も完成したのでまだ伸びるかもしれません。

学習院は定員増と入試を2回に分けたこともあって応募者は増。この時点で前年度の最終応募数を超えています。

早稲田高等学院は、前年度青山学院と同一入試日であったこともあり、応募者数が約300人減少しましたが、今年度はまた戻っています。

江戸川女子はB推薦を導入、上記の減はこのB推薦に応募者がスライドしたため、実質的には変化していません。

医学部や薬学部への高い大学合格実績がある**豊島岡女子**は、定員減となったにもかかわらず、この時点で前年度の中間応募者数と同じ人数となっています。

青山学院は入試日を2/11→2/12へと元にもどしたこと、同日入試日の明大明治移転の影響などで応募者は大幅に増加しました。

早稲田実業は、甲子園優勝の影響が大きいと思われれます。

③ 私立上位中堅校 1

明大中野は大幅増。明大明治の移転と共学化で、都内の男子校希望者が集中したものと見込まれます。

足立学園は、1回目の入試では応募者数を増やしたものの、2/12の2回目では減らしています。青山学院や國學院久我山が2/12に動かした影響かと思われれます。今春の夏に新校舎が完成します。

瀧野川女子は特進選抜(主要国公立大学、早稲田・慶応・上智大学を目指す)が伸ばしています。定員を40→50人と増加したことも影響したのかB推薦でも応募者10→19人と増加しました。

中学を開設した**東海大高輪台**は応募者減となったものの微減に留まっています。希望すれば原則全員が東海大学に進学できるシステムと、スーパーサイエンスハイスクールとして科学技術、理数系教育の重視、質の高い教育を目指した改革などが好感を得ているようです。川崎市・横浜市からも多くの志望者がきます。

青稜は微増です。最終的にも1,180人の応募者があり前年度を若干上回っています。高校での学力レベルは着実に上昇しています。

東京農大第一は進学コースの推薦基準を1ポイントアップ。その結果、推薦の応募者数は226→111人と半減しましたが、一般入試の方は上記にあるようにこの時点で100人の増。推薦の分が一般入試に回った格好です。

日大桜丘は、募集定員が平成16年度520人、17年度470人、18年度440人と漸減し、それに伴う形で応募者も減少傾向にありましたが今年度は増加、やや回復傾向にあるようです。合格者数を定員近くまで絞ったので厳しい入試になりました。

國學院もこの時点で応募者が約100人増。最終的にも約1,500人の応募者がありこちらもやはり厳しい入試になりました。

國學院久我山は入試日を2/10→2/12に移動。その結果応募者が下記のように増加しました。最終応募者数も男子343人、女子135人となり倍増しています。

学校	学科	性別	19年度			18年度				増減
			定員	応募	倍率	定員	応募	倍率	最終	
日大豊山	普通	男	120	217	1.81	140	186	1.33	266	31
明治大学附属中野	普通	男	126	820	6.51	126	655	5.20	953	165
足立学園	文理2/10	男	50	224	4.48	50	148	2.96	203	76
	文理2/12	男	20	51	2.55	20	119	5.95	158	△ 68
	普通2/10	男	35	155	4.43	35	101	2.89	158	54
	普通2/12	男	10	46	4.60	10	76	7.60	116	△ 30
瀧野川女子	特進選抜	女	25	16	0.64	20	6	0.30	7	10
	特進	女	40	16	0.40	40	4	0.10	5	12
	進学	女	70	50	0.71	75	36	0.48	42	14
江戸川女子	Ⅱ類	女	45	32	0.71	60	100	1.67	100	△ 68
東海大高輪台	普通	共	210	331	1.58	240	347	1.45	396	△ 16
青稜	普通	共	130	466	3.58	130	425	3.27	1,108	41
東京農大第一	難関進学 進学	共	50	202	4.04	50	207	4.14	281	△ 5
		共	220	714	3.25	200	614	3.07	757	100
日本大学桜丘	普通	共	220	395	1.80	220	303	1.38	394	92
國學院	普通2/10	共	350	867	2.48	350	769	2.20	1,165	98
國學院久我山	普通	男	40	268	6.70	40	129	3.23	179	139
		女	35	98	2.80	35	25	0.71	55	73
専修大学附属	普通	男	130	231	1.78	130	251	1.93	317	△ 20
		女	70	136	1.94	70	142	2.03	207	△ 6
日本大学第二	普通	男	50	211	4.22	50	172	3.44	232	39
		女	50	165	3.30	50	138	2.76	201	27
日本大学鶴ヶ丘	普通	共	170	200	1.18	170	246	1.45	330	△ 46
	特進2/10	共	30	79	2.63	30	55	1.83	120	24
工学院大学附属	文理特進	共	20	10	0.50	20	8	0.40	21	2
	普通2/10	共	38	91	2.39	30	54	1.80	88	37
	普通2/12	共	60	313	5.22	68	245	3.60	379	68
帝京大学	普通	共	50	81	1.62	20	44	2.20	75	37
帝京八王子	文理	共	25	102	4.08	30	80	2.67	129	22
	医療特進	共	5	5	1.00	-	-	-	-	-
八王子	文特2/10	共	40	166	4.15	40	147	3.68	625	19
	文特2/13	共	20	30	1.50	20	32	1.60	115	△ 2
	文理進学	共	60	515	8.58	60	256	4.27	737	259
	文理普通	共	115	318	2.77	115	315	2.74	812	3
明大中野八王子	普通	共	60	479	7.98	60	336	5.60	391	143
成蹊	普通	共	80	345	4.31	80	316	3.95	361	29
法政大学	普通	共	73	573	7.85	135	321	2.38	483	252
桜美林	普通	共	95	151	1.59	100	299	2.99	463	△ 148
日本大学第三	普通2/11	男	60	383	6.38	60	361	6.02	525	22
	普通2/11	女	30	328	10.93	30	250	8.33	394	78
東京電機大学	普通2/10	共	60	206	3.43	79	230	2.91	320	△ 24
	普通2/13	共	15	153	10.20	20	117	5.85	183	36
錦城	普通	共	220	1,204	5.47	220	940	4.27	1,565	264
明治学院東村山	普通	共	110	292	2.65	110	247	2.25	312	45
拓殖大学第一	普通	共	200	1,566	7.83	200	1,560	7.80	1,658	6

日本大学第二も増。最終応募者数が男子 264 人、女子 232 人でとなり、男子は合格者数を増やさなかったため実質倍率は上昇しました。

工学院大学付属もこの時点で増加していますが、最終的には文理特進が若干増加したものの普通コースは前年度並みでした。附属でありながら東大、東工大、一橋大、早慶上智大を目指す文理特進は推薦でも多くの志願者を集めました。

帝京大学は推薦入試を復活させましたがこれは併願可能な推薦です。25 人の定員に男子 129 人、女子

142 人の応募者がありました。一般入試も上記にあるように、定員増も手伝って最終的には 124 人の応募者を集めました。

高い人気があり毎年多くの志望者を集める**八王子**は、前年度新設の文理進学コースが好調です。最終応募者数も 1,140 人を集めやや難易度が上がった模様です。

明大中野八王子も応募者増となっています。最終応募者数は 494 人で前年度より約 100 人増加しました。

法政大学は予想通り多くの志願者を集めています。最終的には 799 人の応募者があり、その内女子は 304 人（38%）でした。合格者は男子 86 人、女子 76 人で実質倍率では女子の方がやや広き門でした。推薦入試にも定員 50 人に 147 人（内女子は 77 人）の応募者がありました。

錦城はこの時点では志願者大幅増となっていますが、最終的には 1,461 人で前年度より若干減っています。ただし、特進コースは合格者を絞ったため実質倍率はむしろ上がりました。

明治学院東村山は、復活させた推薦入試は定員 30 人に 60 人の応募者が集まりました。

④ 私立上位中堅校 2

一時低迷していた**郁文館**は、復活の兆しが見えてきました。推薦入試定員 20 人に対し単願志望者 51 人（前年度は 10 人）、一般も 72 人（同 47 人）の志望者が集まりました。今後、校舎改築なども予定されておりさらに伸ばしていきそうです。

特進コースを共学化した**広尾学園**は、推薦・一般とも多くの志望者を集めました。学校説明会などで学校の意気込みが伝わり、それが志望者の数となって現れたものと思われます。都立の併願校も青山、戸山、新宿などの上位校が多かったようです。

下北沢成徳も多くの志望者を集めました。こちらも学校を変えていくという気持ちが受検生や保護者に好感と期待感を与えたようです。都立併願校も特進は、日比谷、青山、戸山、国際など、進学も狛江、神代などが多く、全体的に志望者の底上げができたようです。

普通科を共学化した**大森学園**も一般入試では 200 人を超える応募者を集めました。新校舎ときめ細かい学習指導が人気を集めたようです。

⑤ 特進コースは健在（？）

文京学院大女子は特進コースが 130→166 人へと約 3 割増し。他コースも増やしましたが特進の増加率ももっとも多くなっています。

東京成徳大学は、進学選抜と進学コースは一般から推薦へスライドしたようですが、特進コースは推薦、一般とも増加しています。

関東第一の特進も一般入試では、男女 60 人（前年度は 26 人）と大幅に増加。

共栄学園も特進の応募者は前年度の 146 人から 430 人と約 3 倍にもなっています。

白梅学園も特選 S は前年度並みの 33 人だったものの、特選 G は 56→78 人へと増加しました。